

## 2. 科学技術戦略の在り方

---

### (1) 戦略的重点化の強化

- 飛躍知の発見・発明や科学技術の限界突破を目指し、自由な発想や多様性を確保しながら**基礎研究**を推進。
- **政策課題対応型研究**においては、重点4分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)についても政策目標を効果的・効率的に実現する観点や我が国の強み弱みを踏まえながら、**分野内で重点化**。

### (2) 「安全と安心」及び「国家重要基幹技術」

- 国民生活の安全確保や総合的な安全保障・危機管理など「**安全と安心**」の課題に貢献すべく、政策目標に向けた取組を強化。
- 次世代スーパーコンピューティング技術、宇宙輸送システムなどの「**国家重要基幹技術**」は、概念の明確化など引き続き検討。

# 3. 科学技術システム改革

---

## (1) 競争的研究環境の実現のための資金配分

- 効果的な配分を行うための**制度改革**と競争的研究資金の拡充。  
(審査体制の強化、若手研究者向け資金の拡充、重複排除のためのデータベース等)
- 競争的資金と基盤的資金の適切な**バランス**と実現方策を検討。

## (2) 科学技術人材の育成・活躍の促進

- 優れた研究者・技術者、ものづくり人材の育成・確保、若手研究者や女性研究者が能力を発揮できる環境整備などの課題(次ページ参照)について、今後、施策の具体化を検討。

## (3) その他の科学技術システム改革

- 評価システムの改革、大学改革等の更なる進展、産学官連携の推進、地域科学技術の振興、科学技術を支える基盤整備等についても、今後、施策の具体化を検討。

# 人材の育成と活躍促進にかかる課題

人材育成面での課題

新分野を切り拓く  
研究人材育成

産業界などの社会の  
ニーズに  
対応した人材育成  
(技術革新・ものづくり)

次代を担う人材の  
裾野拡大

研究者



教員



技能者



技術者



多様な人材の  
活躍の促進

(女性・外国人・高齢人材)

大学院



大学



若手人材の  
能力発揮の  
ための環境整備

技術経営人材



コミュニケーター



高等学校

中学校

小学校

人材の活躍  
促進面での課題

## 4. 社会・国民に支持される科学技術

---

- 科学技術を巡る社会的ルール作り

科学技術の負の側面に対応した生命倫理問題等のルール形成。

- 国民への説明の強化

研究者のアウトリーチ活動の拡充や政府による政策説明の強化など。

- 国民の主体的参加の促進

基本計画策定や研究開発プロジェクトにおいて、広範な国民の意見を吸収。

国民と科学技術のコミュニケーションを活性化。

## 5 . 国際的取り組み

---

- 環境問題等の国際共通的課題への科学技術による貢献などの目標設定
- 戦略的な国際化政策を展開 (アジア地域科学技術閣僚会議の開催等)
- 優秀な外国人研究者の受入れの促進、若手研究者の海外研究機会の拡大、 など。

## 6 . 総合科学技術会議の役割

---

- 内外の諸情勢、政府研究開発投資の一層効果的な活用、国民への説明責任の強化や戦略的な国際化などに応えるため、機能の充実・強化を図る。